



きらめき



学校HP



「自ら学ぶ姿勢」

校長 小川 潤也

校長として3年目、今年度の入学式の校長の言葉の中に、初めて「学校は教育の場」という言葉を入れました。当たり前ということで今までは割愛していたのですが、その当たり前を大切に、保護者、地域の皆様と共有したいという意味を込めました。学校で、子供たちに様々なことを教えていきたい、そして学習してもらいたい、他とのつながりの中で多くのことを学んでももらいたい、そういう思いを言葉にしました。

さて、新1万円札の肖像画は埼玉県出身の渋沢栄一さんに決まっています。新紙幣の発行は、来月3日からの予定ですが、それまでは福沢諭吉さんです。著書『学問のすゝめ』では、当時、日本より大幅に進歩している欧米を自らの目を見て、「学問こそがこの差を埋める方法」と考え、生涯を通じてその志を果たそうとされました。

ところで、ここでの「学問」とは何を意味するのでしょうか。本書の中では、「学問とは、個人の見識を高めるもの、社会全体の見識に寄与するもの」としています。それは、テストの点数などの結果だけではなく、学んだことを実生活や社会の中で活用するものを指しています。

学んだことを活用するための学問を身に付けるためには、その土台として「自分から学ぶ」姿勢が重要です。学習指導要領で示されている「主体的、対話的で深い学び」は、その自ら学ぶ姿勢と大きく関わってきます。「主体的、対話的で深い学び」を進めていく中では、【めあて】－【見通し】－【学び合い】－【まとめ】－【振り返り】という授業スタンダードが重要です。特に「学び合い」では、自分の考えだけでなく、他との関わりの中で、既にある知識と関連付けて問題解決を図るので、理解が深まりやすいとされています。

鶴ヶ島市でも、日々の学びが将来につながることを視野に教育活動を進めています。例えば「一人も取り残さない教室の実現」に向けて、授業の内容項目に応じて、先ほど書いた「学び合い学習」を行っています。一人も取り残さないということは、児童一人一人が、授業に参加し、内容を理解することに繋がると考えています。内容を理解できれば、自信が付き、自分から進んで学ぼうという意欲につながります。

学校からは、家庭での学習として、自主学習、タブレットを活用した課題、宿題などを出していると思います。お子様が、日々、ご家庭でどのような学習に取り組んでいるか、ぜひ見ていただいて、ほめるチャンスにしていきたいです。

校種は違いますが、私が担任していた時は、常に子供の良いところを探すように心がけていました。その際、ほめるポイントとして意識したのは、

①成果よりも、プロセス(努力・姿勢・やり方)をほめる

②具体的にほめる

ことでした。例えば、テストの点数という結果をほめるのではなく、その点数を取るまでの努力の過程をより具体的にほめるようにしていました。それは、点数は不十分であったとしても、その過程に着目していくことで、一人一人にほめるチャンスがありました。

【ほめる→自己有用感が高まる→自信→主体性が育つ】これは、私自身の経験から言えることです。ほめる部分を私たち大人が見つける意識をより高く持ち、子供と関わっていかねばと考えています。学校でも、自ら学ぼうという気持ちが高まるように授業を工夫していきます。ぜひ、ご家庭でも、家庭学習の取組を見て、ほめていただき、子供が「自ら学ぼう」という姿勢につなげていけるよう、ご協力よろしくお願いいたします。

交通安全教室を行いました

5月18日(水)に西入間警察署による交通安全教室を実施しました。当日は、低学年、中学年、高学年に分かれ、交通ルール、道路の歩き方、自転車の乗り方について教えていただきました。横断歩道の渡り方、一時停止では、必ず止まって確認、広がって歩かない、自転車は並走しないなど交通ルールを再確認する機会となりました。警察署の方から自転車に乗る際は、ヘルメットを必ず着用するよう話がありました。



投げ方教室



5月14日(火)に3年生、なかよし学級児童を対象に投げ方教室を行いました。当日は、独立リーグ埼玉武蔵ヒートベアーズのスタッフ、選手を指導者に迎えました。ボールの握り方、投げ方、目線の送り方といった基本的な指導を繰り返し教えていただきました。貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

【校長室より】

○6月1日(土)、PTA主催の除草作業が行われました。多くの保護者、地域の皆様にお手伝いをしていただきました。ご協力のおかげで、1時間程度で見違えるようにきれいになりました。感謝申し上げます。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

○今年度、南小中学校がともに40周年を迎える年となります。両校のPTA同士で相談し合い、40周年記念の横断幕を作成いたしました。除草作業時に、校地南側付近で周りから見える場所に設置いたしました。ぜひご覧ください。